

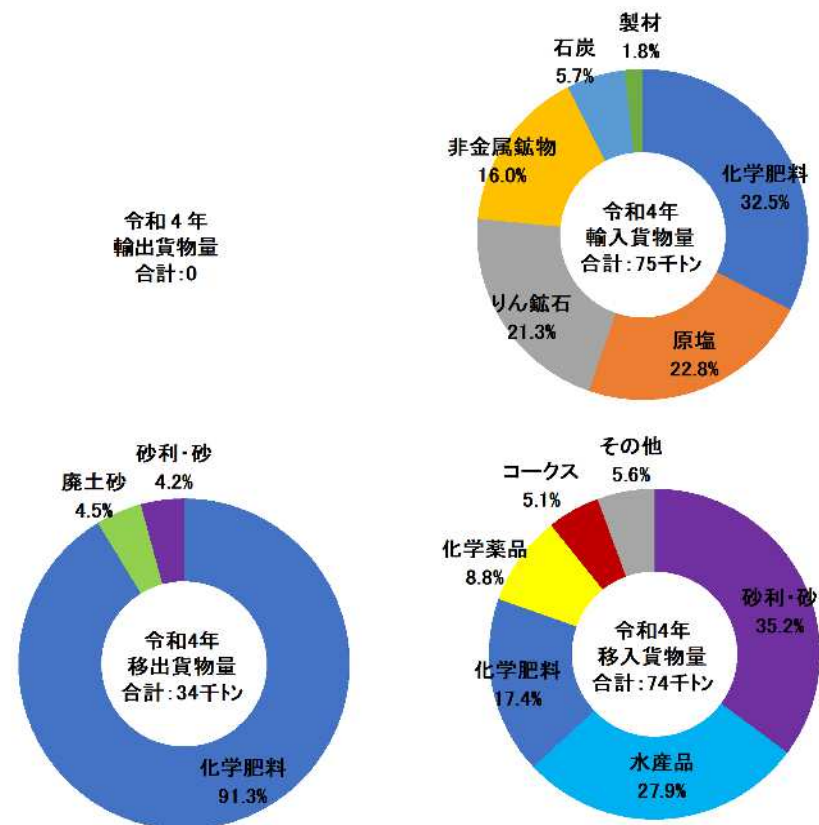
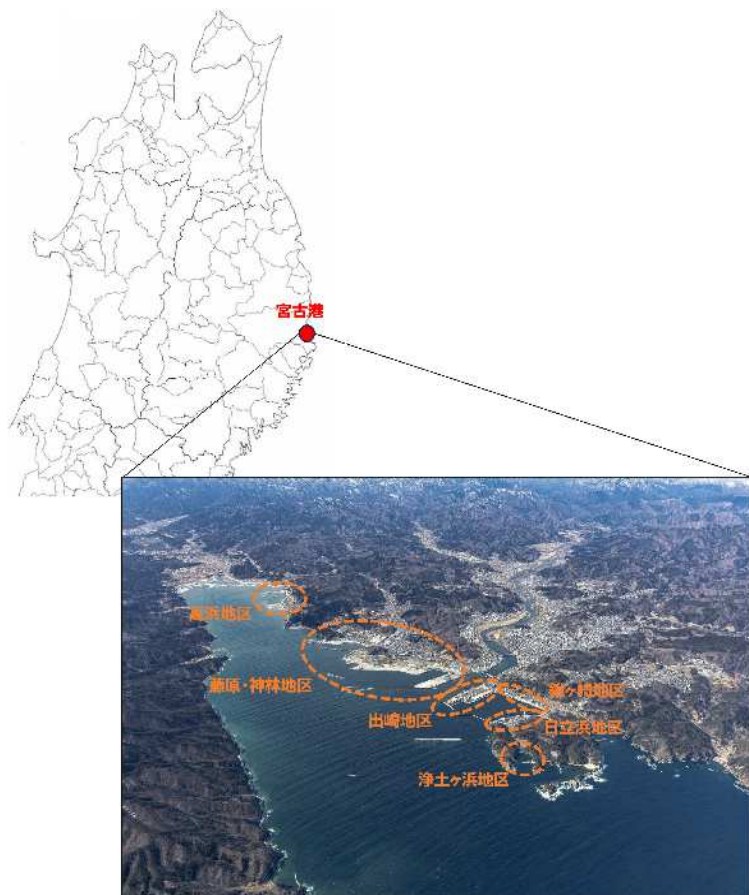
宮古港 港湾脱炭素化推進計画（案）
【概要版】

令和 7 年●月
岩手県（宮古港港湾管理者）

1. 基本的な方針

(1) 港湾の概要

- 岩手県内沿岸のほぼ中央に位置し、外海から遮蔽された良港として知られ、北海道へ向かう漁船の寄港地として、また沖合に豊かな漁場をもつ漁業基地として栄えてきた。
- 昭和26年に重要港湾に指定され、昭和28年には岩手県が港湾管理者となった。
- 平成23年3月に東日本大震災津波の被害を受けたが、平成30年3月に災害復旧事業は完了。
- 藤原地区において平成30年6月にフェリーターミナルビルの供用を開始し、岩手県初となるフェリー航路が就航した。（令和2年4月から宮古港への寄港が一時休止中。）
- 令和4年における取扱貨物量合計は約18万トンで、化学肥料の輸入・移出入や、砂利・砂の移出入、水産品の移入、原塩、りん鉱石、非金属鉱物の輸入が多い。



2. 港湾脱炭素化推進計画の目標

KPI (重要達成度指標)	具体的な数値目標		
	短期 (2025年度)	中期 (2030年度)	長期 (2050年度)
KPI 1 CO2排出量	—	3,307トン/年 (2013年比46%減)	実質0トン/年 (2013年度比100%減)
KPI 2 低・脱炭素型荷役機械導入率	—	0%	100%

※「港湾における水素等の取扱貨物量」及び「ブルーインフラの保全・再生・創出」については、具体的な取組が明らかとなった時点でKPIを追加する。

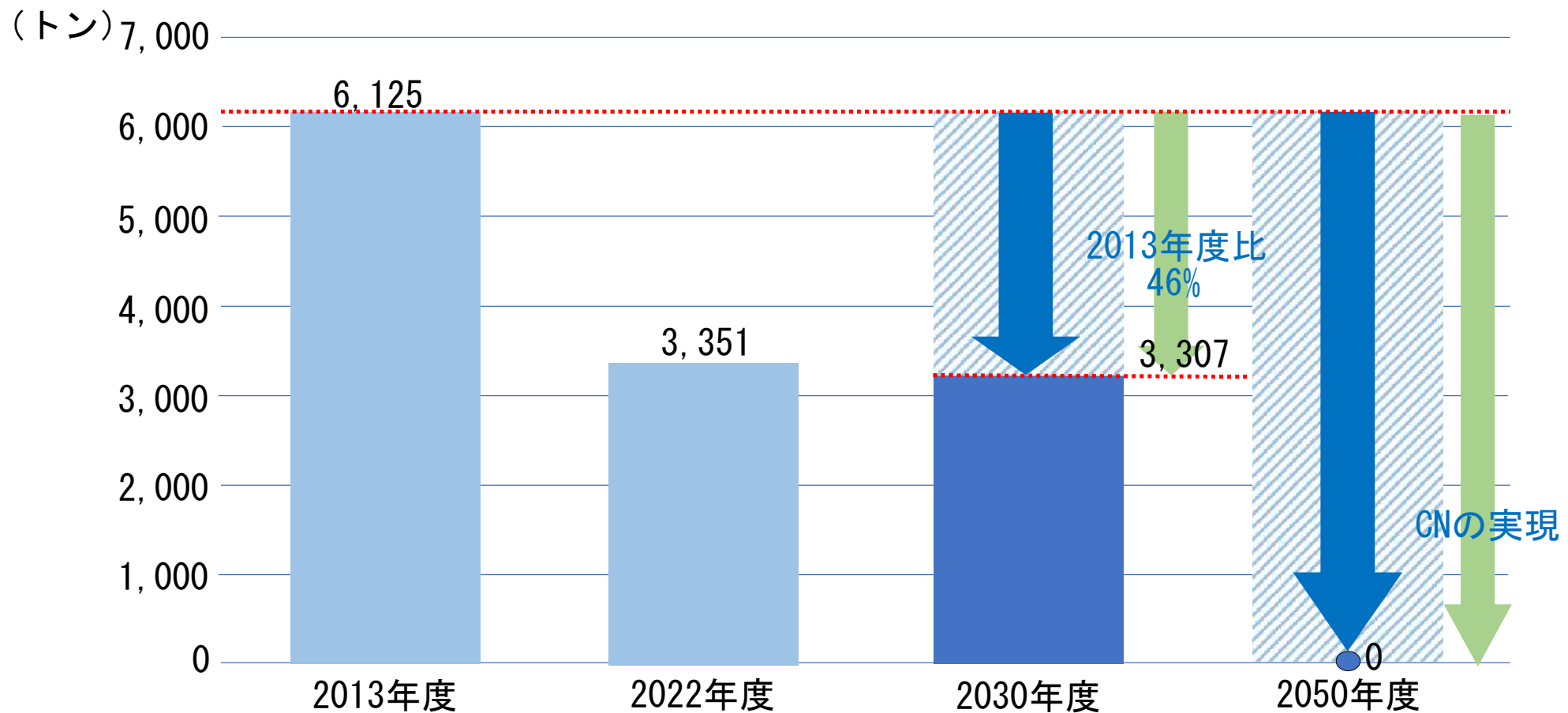


図 CO2排出量 (2030年度以降は目標値)

3. 港湾脱炭素化促進事業及びその実施主体

(a) ターミナル内

- 遊覧船の更新（宮古市）
- 照明施設のLED化（片倉コープアグリ(株)、
港湾管理者（岩手県宮古土木センター））

(b) 出入り船舶・車両

- 現時点では特になし
（取組内容・実施主体が具体化されていないため）

(c) ターミナル外

- 低炭素型荷役機械の導入
（ホクヨープライウッド(株)藤原工場）
- 照明施設のLED化
（ホクヨープライウッド(株)、宮古市）
- 太陽光発電設備導入（宮古市）

港湾脱炭素化促進事業による効果以外に見込まれるCO2削減量（全てターミナル外）

- 発電事業者等の取組による電力排出係数の低減によるCO2削減量（2022年度比）-98トン/年

- ・下記の電力排出係数が実現すると仮定した場合の2030年CO2削減量を試算したもの。
- ・国の示す2030年の電力排出係数：0.00025t-CO2/kWh
（令和3年10月22日閣議決定「第6次エネルギー基本計画」に整合する2030年の電力排出係数）

藤原・出崎地区



太陽光発電設備導入

照明施設のLED化（事務所・工場照明）

低炭素型荷役機械の導入
（フォークリフトの電化等）



※2

浄土ヶ浜地区



照明施設のLED化（タンク及び管理棟照明）

遊覧船の更新
（小型化・軽量化による燃費の向上）



※1

照明施設のLED化（上屋等の照明）

※1 出典：宮古市遊覧船「宮古うみねこ丸」HP

※2 出典：株式会社小松製作所HP

港湾脱炭素化促進事業によるCO2 排出量の削減効果

項目	(a) ターミナル内	(b) 出入り船舶・車両	(c) ターミナル外	合計
①：CO2排出量（2013年度実績）	675トン	1,175トン	4,275トン	6,125トン
②：CO2排出量（2022年度実績）	272トン	982トン	2,097トン	3,351トン
③：CO2排出量（2030年度推定）	242トン	982トン	2,003トン	3,227トン
④：CO2排出量の増減量（2013年度から2030年度までの増減量）	-433トン	-193トン	-2,273トン	-2,899トン
⑤：2030年度時点の削減率（④/①）	64%	16%	53%	47%

○今後、脱炭素化の取組の具体化に応じ、港湾脱炭素化推進計画を見直し、港湾脱炭素化促進事業へ追加していくことによって、目標に向けて削減率を高めていく。

4. 港湾における脱炭素化の促進に資する将来の構想

(a) ターミナル内

- 省エネルギー動力設備の導入
- 低炭素型荷役機械の導入
- 太陽光発電設備の導入
- 次世代エネルギー（水素、アンモニア等）への燃料転換

(b) 出入り船舶・車両

- 低炭素型車両の導入
- 次世代エネルギー（水素・アンモニア等）車両の導入
- 低炭素燃料船の導入
- 次世代エネルギー（水素・アンモニア等）船の導入

(c) ターミナル外

- 低炭素型機械の導入
- 次世代エネルギー（水素、アンモニア等）への燃料転換
- ブルーカーボン（藻場）の造成



※ 1 出典：国土交通省HP「CNP形成に資する技術の事例集」

※ 2 出典：国土交通省HP 地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会 令和5年度第1回委員会資料